



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要				
建物名称	(株)美和樹脂 工場 新築工事	BEE	1.1	BEEランク B+ ★★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8 /5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4 /5		ふつつ	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5 /5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア (平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4点以上	ふつつ 3点以上
			がんばろう 3点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点		
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>		3.8		
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>④外壁仕上げ材の耐用年数は最大12年</p> <p>④給水・排水配管には分類B(期待耐用年数40年)の配管を使用した。</p> <p>■室外環境 (敷地内) 対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>⑥敷地の55.6%分の空地を設け、風の通り道を確保した。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑨省エネ法におけるBEIm=0.27</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪大便器は、節水コマがある上4.8Lの節水型便器を採用した。</p> <p>⑫S造であるため、躯体の解体がしやすい。</p> <p>⑬断熱材は発泡剤ではないロックウールを採用し、オゾン層破壊のリスクをなくした。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑭ライフサイクルCO2が一般の建築物の65%になるように設計した。</p> <p>⑮卓越風向に対する建築物の見付面積比を44%とし、風通しが良くなるよう配慮した。</p>	<p>Q-1 2 2.1 2.1.2 ①</p> <p>Q-1 3 3.1 3.1.3 ②</p> <p>Q-1 3 3.2 3.2.1 ③</p> <p>Q-2 2 2.2 2.2.1 ④</p> <p>2.2.2 ④</p> <p>2.2.3 ④</p> <p>2.2.4 ④</p> <p>2.2.5 ④</p> <p>2.2.6 ④</p> <p>Q-3 1 ⑤</p> <p>3 3.2 ⑥</p> <p>LR-1 1 ⑦</p> <p>2 ⑧</p> <p>3 ⑨</p> <p>4 4.1 ⑩</p> <p>4.2 ⑩</p> <p>LR-2 1 1.1 ⑪</p> <p>1.2 1.2.1 ⑫</p> <p>1.2.2 ⑫</p> <p>2 2.1 ⑬</p> <p>2.2 ⑬</p> <p>2.3 ⑬</p> <p>2.4 ⑬</p> <p>2.5 ⑬</p> <p>2.6 ⑬</p> <p>3 3.1 ⑭</p> <p>3.2 3.2.1 ⑭</p> <p>3.2.2 ⑭</p> <p>3.2.3 ⑭</p> <p>LR-3 1 ⑮</p> <p>2 2.2 ⑮</p>	<p>① 外皮性能</p> <p>② 昼光利用設備</p> <p>③ 昼光制御</p> <p>④ 躯体材料の耐用年数</p> <p>④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>④ 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>④ 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>④ 主要設備機器の更新必要間隔</p> <p>⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>⑥ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>⑦ 建物外皮の熱負荷抑制</p> <p>⑧ 自然エネルギー利用</p> <p>⑨ 設備システムの高効率化</p> <p>⑩ モニタリング</p> <p>⑩ 運用管理体制</p> <p>⑪ 節水</p> <p>⑫ 雨水利用システム導入の有無</p> <p>⑫ 雑排水等利用システム導入の有無</p> <p>⑫ 材料使用量の削減</p> <p>⑫ 既存建築躯体等の継続使用</p> <p>⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用</p> <p>⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</p> <p>⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み</p> <p>⑫ 有害物質を含まない材料の使用</p> <p>⑬ 消火剤</p> <p>⑬ 断熱材</p> <p>⑬ 冷媒</p> <p>⑭ 地球温暖化への配慮</p> <p>⑮ 温熱環境悪化の改善</p>		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>		2.9	
	<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>⑰災害時に備え、給排水衛生配管の系統を区分し、ピットを設けた。</p>	<p>Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯</p> <p>2.1.2 ⑯</p> <p>2.4 2.4.1 ⑰</p> <p>2.4.2 ⑰</p> <p>2.4.3 ⑰</p> <p>2.4.4 ⑰</p> <p>2.4.5 ⑰</p>	<p>⑯ 耐震性</p> <p>⑯ 免震・制振性能</p> <p>⑰ 空調・換気設備</p> <p>⑰ 給排水・衛生設備</p> <p>⑰ 電気設備</p> <p>⑰ 機械・配管支持方法</p> <p>⑰ 通信・情報設備</p>	
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		3.4	
	<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑲階高は1階・2階共に4.0m超にし、階高にゆとりを持たせた。また、成型工場の壁長さ比率0.1とし、空間の形状に余裕を持たせた。</p> <p>■室外環境 (敷地内) 対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p> <p>㉑北・西・南面に大規模な庇を設け、製品を雨から守るなど、工場における製品の生産・管理環境の向上に配慮した。</p>	<p>Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲</p> <p>3 3.1 3.1.1 ⑲</p> <p>3.1.2 ⑲</p> <p>Q-3 3 3.1 ⑳</p>	<p>⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画</p> <p>⑲ 階高のゆとり</p> <p>⑲ 空間の形状・自由さ</p> <p>⑳ 地域性への配慮、快適性の向上</p>	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>		2.5		
<p>■室外環境 (敷地内) 対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>②敷地境界線に沿って緩衝帯緑地を設け、敷地周囲から見て良好な空間になるよう配慮した。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑮卓越風向に対する建築物の見付面積比を44%とし、風通しが良くなるよう配慮した。また、隣棟間隔指数1.78になるよう建築物を配置し、敷地を通過した風が回復しやすくなるよう配慮した。</p>	<p>Q-3 1 ⑤</p> <p>2 ②</p> <p>3 3.2 ⑥</p> <p>LR-2 2 2.5 ⑫</p> <p>LR-3 2 2.2 ⑮</p>	<p>⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>② まちなみ・景観への配慮</p> <p>⑥ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>⑮ 温熱環境悪化の改善</p>		